



SEISEI



浜松聖星高等学校通信 2025年度 3月号 R8.3.2 発行

★理事長祝辞

浜松海の星学院理事長 北脇 保之

卒業生のみなさん、おめでとうございます。

旧約聖書コヘレトの言葉第7章14節には、次のようにあります。

「幸せな日には幸せであれ。不幸な日にはこう考えよ。人が後に起こることを見極められないように神は両者を造られたのだ、と。」

人には順境の時も逆境の時もあります。順境の時には存分に喜ばばいいのです。ただ、順調な時ばかりが続くと人は万能であるかのように錯覚し、神に対する謙虚さを失ってしまいます。不幸な日があるからこそ、人は自分の将来を予測できない弱い存在であることを思い知らされ、謙虚さを保つことができるのです。人はたとえ逆境にある時でも神のみ心を忘れず、希望を持って正しい行いをするのが大事だと、聖書は言っています。

このことは人の一生について言えるだけでなく、大きく人類全体についても言えることです。現在の世界は、自然破壊や格差増大の問題が深刻化するとともに、国際秩序が危機に瀕しています。このような逆境の時こそ人類が冷静になって、謙虚さを取り戻す必要があります。本校においてキリスト教の世界観、人間観を学んだみなさんにはぜひ世界をよい方向に動かす力になってほしいと願っています。

みなさんの人生が輝かしいものとなりますようお祈りいたします。

★学院長祝辞

浜松海の星学院学院長 Sr.ニルダ

To the Graduates of the school year 2025 - 2026!

Congratulations ! It is a beautiful coincidence that your graduation is celebrated within the school`s 70th foundation anniversary.

As you leave your Alma Mater, Seisei koukou, may you always keep in your heart what you have learned from your last Chapel Hour.

You have discovered and acknowledged that as human beings we are all vulnerable, each one of us has limitations and weaknesses.

This is why Jesus Christ teaches us to love one another and to carry each other`s burden. Decide to love and everything will go well.

As you face a new stage of life, as a young adult, you may find difficulties and struggles along the way. Do not be afraid and take these trials as an opportunity for growth. You have learned that prayer is a heart to heart conversation with God. Practice this Christian way of life, a constant connection with God.

May your learnings from your Alma Mater equipped you to face life with confidence and courage knowing that God lives in you. I keep you in my heart and I wish you all the best in life. May the Blessed Virgin Mary accompany and bless you.

【日本語訳】

ご卒業おめでとうございます。皆さんの卒業が、母校の創立70周年という記念すべき年に重なったことは、素晴らしい巡り合わせですね。

聖星高校という母校を巣立つにあたり、最後のチャペル・アワーで学んだことを、どうかいつも心に留めておいてください。

私たちは人間として誰もが脆く、一人ひとりが限界や弱さを持っているということを、皆さんは気づき、受け入れたはずです。

だからこそ、イエス・キリストは「互いに愛し合いなさい」「互いの重荷を担い合いなさい」と教えておられるのです。「愛すること」を決心してください。そうすれば、すべてはうまくいきます。

若き大人として人生の新しいステージに向かう時、道中で困難や苦しみに直面することもあるでしょう。しかし、恐れしないでください。その試練を成長の機会として捉えてほしいのです。皆さんは、祈りとは「神様との心と心の対話」であることを学びました。神様と絶えず繋がるという、このキリスト教的な生き方を実践して行ってください。

母校での学びが、神様が自分の中に生きておられるという確信となり、勇気を持って人生に立ち向かう力となるよう願っています。私は皆さんのことをいつも心に留め、これからの人生の幸せを祈っています。

聖母マリアが皆さんに寄り添い、祝福してくださいますように。

★学校長祝辞

校長 野村 賢一

ミラノ・コルティナ五輪のスノーボード男子ビッグエア会場で、私たちは国家間の対立を超えた本物のつながりを目にしました。前回大会のチャンピオンで今回は銅メダルに終わった中国のスー・イーミン選手が、連覇を逃した悔しさを一切見せることなく、満面の笑顔で金メダルの木村葵来選手の頭を優しく撫でて祝福したのです。そこには、国籍の違いもライバルの壁も存在しませんでした。

スー選手はSNSで、愛を共有することこそが大切だと発信しています。これは、「人は神によって創造された兄弟姉妹である」というカトリックの価値観の具現であり、隣人愛の神髄です。二人は真剣勝負を通じ、互いを一人の人間として認め合っていたのでしょう。あの笑顔は、現在の世界を覆っている分断という名の暗雲を吹き払い、すべての人が同じ神の似姿であることを思い起こさせる平和の福音でした。

3年生の皆さん、卒業おめでとう。浜松聖星で高校生活を送った皆さんは、スー選手が示してくれたのと同じ眼差しを持っています。これこそ、皆さんがこの浜松聖星での生活を通じて育んだ真理そのものです。世界情勢が不安定な今だからこそ、皆さんが地の塩としてこの社会に平和をもたらし、世の光として未来を照らし出す存在となってくれることを、心から願っています。

★令和7年度卒業生（計232名）

- ◇進学コース [31HR] 33名 [32HR] 33名 [33HR] 33名 [34HR] 34名
- ◇特進コース [35HR] 39名 [36HR] 39名
- ◇理数コース [37HR] 21名

★令和7年度卒業記念品

- ・応援歌パネル ※体育館に設置
- ・テント1張り



★3学年教員からのメッセージ（[]内担当教科）

◆3学年主任 川口 多加 [国語科]

保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。この3年間、保護者の皆さまには本校の教育活動に多大なるご協力を賜りましたこと、感謝申し上げます。

以前に読んだ本に、ケンブリッジ大学のバーバラ・サハキアン教授の研究が紹介されていました。いわく、人間は1日に最大約35000回の決断（選択）を行っているとのこと。中には日々の衣食住に関する選択もあれば、人生の方向性に関する重大な決断もあるでしょう。生徒たちにはこの3年間で大きな決断を迫られる場面も多々あったことと思います。保護者の皆様にとっても、お子様とともに悩み、揺れる世代を心身両面で支えて来られた道程であったことと拝察します。

選んだ道を正解にするのは今後の生き方次第。卒業生ならびにご家族の皆様の未来に幸多かれと祈ります。

◆31HR担任 清水 あす香 [英語科]

ご卒業おめでとうございます。聖星校生として過ごした三年という時間、みなさんはどのように彩りを添えてきましたか？心温まる穏やかな配色を施したこともあれば、時に激しい色彩で情熱的に色を差したこともあるでしょう。そのすべての瞬間が人生における経験値となって、この先それぞれの道を歩み続ける皆さんの背中を押してくれることでしょう。

高校というある種守られ、失敗しても立て直しのきく環境で、10代の爆発するようなエネルギーで自由に挑戦したことや固定概念にとらわれず思いを巡らしたことの貴重さを噛みしめるのはずっと後のことかもしれません。しかし、今ここを巣立つ皆さんは各々の聖星高校三年間という唯一無二の財産を得ました。成功も失敗も、喜びも悲しみも明日への力強い一歩にしてください。

あわせて保護者の皆様には、三カ年の本校の教育活動へのご理解を厚くお礼申し上げます。

◆32HR担任 黒川 竜伯 [国語科]

ご卒業おめでとうございます。何気ない日常の笑い声、行事での真剣な眼差し、時には進路で悩み、ぶつかり合ったこと。今となればその全てがかけがえのない大切な日々だったと思い出されます。教師としてこれから旅立つ君たちに一つの言葉を贈ります。『置かれた場所で咲けなくとも、根を張ることをやめるな』これから先、理不尽なことや、どうしても頑張れない日が必ず来ます。そんな時は、無理に咲こうとしなくていい。ただ、腐らず、自分を見捨てず、じっと土の中で根を伸ばしてください。その「根」さえしっかりしていれば、いつか必ず素晴らしい花を咲かせる時が来ます。焦らず、自分のペースで歩いてください。みなさんがこの教室からいなくなるのは寂しいですが、それ以上に、みなさんの未来が楽しみでなりません。もし道に迷ったら、いつでもここを思い出してほしい。私たちはいつだってみなさんの味方です。一生に一度の人生を全力で楽しんでください。最高の3年間をありがとう。

◆33HR担任 須山 紘未 [国語科]

私にとって、入学から卒業までの三年間を共に歩んだ学年は皆さんが初めてでした。一人ひとりが悩み、考え、自らの道を切り拓いていく姿を近くで見守ることができたことを嬉しく思っています。

門出にあたり、私が皆さんに贈りたいのは、ミュージカル『RENT』に登場する「No day but today」という言葉です。直訳すれば「今日という日以外にない」となりますが、そこには「今という一瞬一瞬を懸命に生きる」というメッセージが込められています。未来の自分を形作るのは、今この瞬間を誠実に向き合うことの積み重ねです。今日という一日を丁寧に積み上げていくことが、やがて皆さんを支える確かな力へと変わっていきます。これから先、新しい環境で迷うことがあったとしても、一步一步を大切に歩いていってください。皆さんの歩む道が、光り輝く素晴らしいものであることを心から願っています。卒業おめでとう！

◆34HR担任 長山 洸太 [理科]

ご卒業おめでとうございます。皆さんは私にとって最初の卒業生です。3年前に新任教員として着任し、月日の流れの速さを感じています。これから先、環境が変わり、自分一人で決断し、責任を負わなければならない場面が格段に増えていくと思います。不安になることもあるかもしれませんが、この学校で育んだ「他者を思いやる心」と「最後までやり抜く力」があれば、どこへ行っても大丈夫です。最後に私の好きな言葉を贈ります。

【運命とは受け入れるものではなく、自ら選び創り出すものである。人は不可能だと思う時やりたくないという決心しているのである。／スピノザ】

できない理由を並べずに努力を惜しまない人になってください！3年間本当にありがとう！！

◆35HR担任 川口 朋哉 [地歴公民科]

ご卒業おめでとうございます。皆さんは私にとって最初の卒業生…と言いたいですが、昨年度に引き続き、3年間で2回目の卒業生です。ですが、思い返せば多くの思い出ばかりです。「掃除に行け！」と叫び続けたことも、ベリタスプラザのタピオカ屋さんで等身大パネルと謳いつつも実際にはぼくより身長が低かったことも、毎日の世界史の授業も、沖縄・グアムの修学旅行も、今となってはどれも素敵な思い出です。

さて、歴史総合でも世界史探究でも、19世紀アメリカの南北戦争について触れました。その時の合衆国の大統領を覚えていますか？そうですね、リンカンですね。ぼくが好きな彼の言葉を紹介します。

「意志あるところに道は通ず (Where there is a will, there is a way.)」

この高校3年間でありとあらゆる目標を立て、達成してきたり、未達成だったりしたと思います。特に最後の1年間は、志望校に向けてがむしゃらに勉強してきた姿を最も近くで見せてもらいました。HRでも努力が必ずしも報われるとは限らないとか、続けていてもきっと叶わない夢ばかりという話をよくしてきました。それは、あなたが一番よくわかっていることだと思います。それでも、あなたが動いてきたのは意志があったから、夢があったからです。それがなければ動くことさえできなかった。自分の哲学を持って、夢を見て、これからの道を切り拓いていってください。卒業おめでとう。

◆36HR担任 鈴木 瑤介 [数学科]

ご卒業おめでとうございます。みなさんが入学した5月にGoogleBard(現在のGemini)の日本語版が利用可能になり、3年間で画像や動画生成など凄まじい進化を遂げました。今では欠かせないツールになってきています。みなさんも実感がないだけでGeminiやChatGPTに負けにくいくらい凄まじい進化を遂げたはずですが、AIは膨大な知識を学習して日々「賢く」なりますが、そこに「心」はありません。みなさんは知識だけでなく心も進化したんです。

これから先、AIには予測できない未来が待っています。でも大丈夫。みなさんには、データ化できない「想い」という最強の武器がある。どうか自分自身の可能性を信じ、AIには描けない、みなさんだけの感動的な物語を紡いでいってください。

◆37HR担任 片谷 陽一 [理科]

素晴らしい生徒たちと出会い、教師冥利に尽きる素晴らしい3年間を過ごすことができました。そして保護者の皆様には心強いサポートをいただきまして、まったくもって感謝しかありません。合格発表がこれからなので、おめでとうを言うにはまだ早いですが、必ずやここまでの努力の結果にふさわしい結果が出るものと信じています。ありとあらゆる問題に対して、真正面から向き合い、挑み続ける人になってほしいと願っています。そう思って3年間指導をしてまいりました。きつとなれると思います。お子さんの卒業後ますますの活躍を期待しています。ありがとうございました。

◆副担任 佐藤 大介 [数学科]

ご卒業おめでとうございます。わずか3年という非常に短い期間を過ごすだけの高校生活なのですが、そこで得た財産が人生に大きく影響を及ぼしていくことを、保護者の方々も含めそこを通り過ぎてきた私達は知っています。進路部長という役職柄、毎年3学年に所属し多くの卒業生たちの進路に関わってきましたが、いつも思うことは一つです。この3年間の道のりと決断が、みなさんが次に会うであろう人生の選択の糧となりますように。

◆副担任 土屋 敦 [保健体育科]

これまで多くの教え子を見てきましたが、努力して後悔した人を見たことはありません。一方で、努力をせずに後悔する人は、腐るほど見てきました。結果がすぐに出ないこともあるでしょう。しかし、努力して成長しない人はいない。勉強して馬鹿になる人もいない。何かをして変わった人はいても、何もしないで変わった人は、この世の中に絶対にいないのです。どんなに小さな一歩でも、踏み出し続けることに意味があります。では、その一歩をどこに向かって踏み出すべきか。それはあなたの『夢』です。夢なき者に理想無し、理想なき者に計画無し、計画なき者に実行無し、実行なき者に成功無し。だから、夢なき者には成功は無い。あまり難しく考えすぎる必要はありません。駄目で元々、成功したらラッキーそれくらいの軽やかな気持ちで、まずは挑戦してみてください。卒業おめでとう。自信を持って、行ってこい！

◆副担任 児玉 美奈子 [国語科・宗教科]

みなさんはこの3年間でいくつの聖歌を覚えましたか？

2月の聖歌「私をお使ください」は、マザーテレサの祈りの言葉が歌詞になっています。そこには、これから皆さんができることのヒントがたくさんあります。身近で、ささやかなことかもしれません。でもそれは、世の中を明るく照らす灯火です。聖星で学んだ皆さんにはその力があると信じています。

主よ、今日一日、友を必要としている人々に、私の心をお使ください。(マザーテレサ)

卒業、おめでとうございます。またいつか、元気な顔を見せに来てくださいね。

◆副担任 鈴木 富美子 [英語科]

「これからは声に出してあいさつしていいよ！」コロナ禍の中学3年間を終え、初登校したあなたたちに話した時、緊張でいっぱい顔に笑顔が広がったことを思い出します。さまざまな場面で、悩んだり迷ったりしながら「今、できること」に力を尽くす中で、適応力を磨き、目に見える結果以上のものを育むあなたたちの姿を見せてもらいました。ありがとう。"It is only with the heart that one can see rightly; what is essential is invisible to the eye." (本当に大切なものは目に見えない。だから心の目で見るのだよ) サン・テグジュペリ作『星の王子さま』の一節です。これから進む新しいステージでも、表面に見えるものだけに惑わされず、目に見えなくても確かにそこにある大事なものに気づく心の目を養ってね。自分の中にある良いものを、あなたを必要としている誰かに手渡せますように。May all of you live fully and happily! 卒業おめでとう。



★卒業生・令和7年度表彰

1. 皆勤賞 (8名)

[32HR] 黒田莉央 / [33HR] 山田英喜 / [34HR] 石見恭一
[36HR] 原田峻 / 松井小夏 / [37HR] 大河原仁獅 / 谷口晴人 / 辻莉苑

2. 静岡県私学協会理事長表彰 奨励賞一般表彰 (各クラス推薦者)

[31HR] 森美希奈 / [32HR] 若森悠輝 / [33HR] 金田桜子 / [34HR] 石見恭一
[35HR] 渥美睦月 / [36HR] 大倉佳子 / [37HR] 西尾知花

3. 静岡県私学協会理事長表彰 奨励賞 文化体育表彰

団体

陸上競技部 (女子)

🌟 第78回静岡県高等学校陸上競技対校選手権大会 (トラック競技) 1位

吹奏楽部

🌟 第80回 東海吹奏楽コンクール (高等学校の部) 金賞

演劇部

🌟 令和7年度静岡県高等学校総合文化祭演劇部門・第49回静岡県高等学校演劇研究大会 優秀賞

個人

[21HR] 平野優侖菜

🌟 第78回静岡県高等学校陸上競技対校選手権大会 (100m, 200m) 1位

[33HR] 東田あやめ

🌟 第78回静岡県高等学校陸上競技対校選手権大会 (三段跳) 1位

[31HR] 西村梨里

🌟 第80回静岡県陸上競技選手権大会 (400mハードル) 1位

[21HR] 鈴木李音

🌟 令和7年度静岡県高等学校総合文化祭放送部門 (朗読部門) 準優勝

4. 日本私立中学高等学校連合会会長表彰

[34HR] 森田路乃

5. 令和7年度静岡県高等学校文化連盟特別表彰

浜松聖星高等学校 吹奏楽部

🌟 第73回全日本吹奏楽コンクール (高等学校の部) 金賞

6. ベリタス賞 (学業成績優秀者)

◇進学コース [32HR] 山本晃子 / [33HR] 高木和 / [34HR] 森田路乃

◇特進コース [36HR] 白井新菜

◇理数コース [37HR] 鈴木亮介



7.ステラマリス賞(東海レベル以上、またはこれに準ずる実績)

【団体】

陸上競技部（女子）

🏆 第78回静岡県高等学校陸上競技対校選手権大会（トラック競技） 1位

陸上競技部 [34HR] 鈴木ねえか [21HR] 河村彩 [21HR] 平野優侷菜 [11HR] 村埜ゆずほ

🏆 令和7年度東海高等学校総合体育大会兼第71回東海高等学校陸上競技対校選手権大会兼秩父宮賜杯
第78回全国高等学校陸上競技対校選手権大会東海地区予選会（4×100mリレー） 7位

陸上競技部 [13HR] 大石季紗 [34HR] 鈴木ねえか [13HR] 西尾凜音 [31HR] 西村梨里

🏆 令和7年度東海高等学校総合体育大会兼第71回東海高等学校陸上競技対校選手権大会兼秩父宮賜杯
第78回全国高等学校陸上競技対校選手権大会東海地区予選会（4×400mリレー） 出場

陸上競技部 [11HR] 村埜ゆずほ [21HR] 河村彩 [21HR] 平野優侷菜 [13HR] 大石季紗

🏆 第28回東海高等学校新人陸上競技選手権大会 4×100mリレー 出場

陸上競技部 [13HR] 大庭萌那 [21HR] 河村彩 [13HR] 大石季紗 [21HR] 平野優侷菜

🏆 第28回東海高等学校新人陸上競技選手権大会 4×100mリレー 出場

陸上競技部 [11HR] 飯田英汰 [14HR] 中村海斗 [24HR] 鈴木克弥 [21HR] 河合哉汰

🏆 第28回東海高等学校新人陸上競技選手権大会 4×100mリレー 出場

吹奏楽部

🏆 第73回全日本吹奏楽コンクール（高等学校の部） 金賞

演劇部

🏆 第61回関東高等学校演劇研究大会 優良賞

バドミントン部（男子）

🏆 令和7年度 第54回全国高等学校選抜バドミントン大会東海地区予選会学校対抗の部 出場

【個人】

[31HR] 井口愛結

🏆 第72回NHK杯全国高校放送コンテスト朗読部門 入選

[36HR] 大倉佳子

🏆 第49回全国高等学校総合文化祭 かがわ総文祭 アナウンス部門 出場

[21HR] 平野優侷菜

🏆 令和7年度東海高等学校総合体育大会兼第71回東海高等学校陸上競技対校選手権大会兼秩父宮
賜杯第78回全国高等学校陸上競技対校選手権大会東海地区予選会
（100m）8位、（200m）7位

[33HR] 東田あやめ

🏆 令和7年度東海高等学校総合体育大会兼第71回東海高等学校陸上競技対校選手権大会兼秩父宮
賜杯第78回全国高等学校陸上競技対校選手権大会東海地区予選会（三段跳）5位

[31HR] 西村梨里

🏆 令和7年度東海高等学校総合体育大会兼第71回東海高等学校陸上競技対校選手権大会兼秩父宮
賜杯第78回全国高等学校陸上競技対校選手権大会東海地区予選会（400mハードル）7位

[32HR] 若森 悠輝

🏆 令和7年度東海高等学校総合体育大会兼第71回東海高等学校陸上競技対校選手権大会兼秩父宮
賜杯第78回全国高等学校陸上競技対校選手権大会東海地区予選会（走幅跳）6位

[17HR] 木下陽

🏆 第28回東海高等学校新人陸上競技選手権大会（砲丸投）2位

[32HR] 高橋 飛雄

🏆 令和7年度東海高等学校総合体育大会兼第71回東海高等学校陸上競技対校選手権大会兼秩父宮
賜杯第78回全国高等学校陸上競技対校選手権大会東海地区予選会（100m）出場

[35HR] 佐川 旭

🏆 令和7年度東海高等学校総合体育大会兼第71回東海高等学校陸上競技対校選手権大会兼秩父宮
賜杯第78回全国高等学校陸上競技対校選手権大会東海地区予選会（3000m障害）出場

[35HR] 水谷 俊介

🏆 令和7年度東海高等学校総合体育大会兼第71回東海高等学校陸上競技対校選手権大会兼秩父宮
賜杯第78回全国高等学校陸上競技対校選手権大会東海地区予選会（棒高跳）出場

[34HR] 後藤ブレド

🏆 令和7年度東海高等学校総合体育大会兼第71回東海高等学校陸上競技対校選手権大会兼秩父宮
賜杯第78回全国高等学校陸上競技対校選手権大会東海地区予選会（やり投）出場

[34HR] 鈴木ねえか

🏆 令和7年度東海高等学校総合体育大会兼第71回東海高等学校陸上競技対校選手権大会兼秩父宮
賜杯第78回全国高等学校陸上競技対校選手権大会東海地区予選会（100m）出場

[21HR] 河村 彩

🏆 令和7年度東海高等学校総合体育大会兼第71回東海高等学校陸上競技対校選手権大会兼秩父宮
賜杯第78回全国高等学校陸上競技対校選手権大会東海地区予選会（100m,200m）出場

[16HR] 高木蒼真

🏆 第28回東海高等学校新人陸上競技選手権大会（走高跳）出場

[14HR] 中村海斗

🏆 第28回東海高等学校新人陸上競技選手権大会（100m）8位

[22HR] 奥山史都

🏆 第28回東海高等学校新人陸上競技選手権大会（走高跳・三段跳）出場

[13HR] 西尾凜音

🏆 第28回東海高等学校新人陸上競技選手権大会（三段跳）出場

[12HR] 小林司

🏆 令和7年度 第78回中部日本バドミントン選手権大会（ダブルスの部）出場

[14HR] 横山真士

🏆 令和7年度 第78回中部日本バドミントン選手権大会（シングルの部）出場

🏆 令和7年度 第78回中部日本バドミントン選手権大会（ダブルスの部）出場



★ 浜松聖星高等学校 第8回生(共学化6期生)の主なあゆみ

2023(令和5)年 4月 **入学** (4月6日 入学式)

◇学年主任：土屋 敦

◇担任：[11HR] 須山 紘未 [12HR] 長山 洸太
 [13HR] 川口 朋哉 [14HR] 北村 俊也
 [15HR] 鈴木富美子 [16HR] 清水 あす香
 [17HR] 片谷 陽一



5月 遠足で“ラグーナテンボス”へ (5月2日)

マリア祭 (5月23日)

6月 ベリタスプラザ (6月9日、10日)

9月 体育祭 (9月29日)

11月 チャペルアワー (11月6日)

スポーツデー (11月21日)



12月 ステラサンクタクリスマス (12月24日・25日)

2024(令和6)年 1月 マラソン大会@エコパ (1月23日)

2024(令和6)年 4月 **進級**

◇学年主任：川口 多加

◇担任：[21HR] 須山 紘未 [22HR] 黒川 竜伯
 [23HR] 清水 あす香 [24HR] 長山 洸太
 [25HR] 鈴木 富美子 [26HR] 鈴木 瑤介
 [27HR] 片谷 陽一



遠足で“東山動植物園”へ (5月2日)

マリア祭 (5月28日)

6月 ベリタスプラザ (6月7日・8日)

9月 体育祭 (9月27日)

10月 チャペルアワー (10月2日)

11月 修学旅行 (11月11日～15日)

スポーツデー (11月26日)

12月 ステラサンクタクリスマス (12月23日・24日)

2025(令和7)年 1月 マラソン大会 @ エコパ (1月30日)

2025(令和7)年 4月 **進級**

◇担任：[31HR] 清水 あす香 [32HR] 黒川 竜伯
 [33HR] 須山 紘未 [34HR] 長山 洸太
 [35HR] 川口 朋哉 [36HR] 鈴木 瑤介
 [37HR] 片谷 陽一



5月 遠足で“ナガシマスパーランド”へ (5月2日)

マリア祭 (5月20日)

6月 ベリタスプラザ (6月6日・7日)

9月 体育祭 (10月3日)

11月 チャペルアワー (11月12日)

スポーツデー (12月9日)

12月 ステラサンクタクリスマス (12月23・24日)



2025(令和7)年1月 家庭学習期間 (1月19日～)

3月 **卒業** (3月2日卒業式)



★浜松市長の講話 -2月24日(火)-

2月24日(火)の1・2年生のLHRの時間に、浜松市長である中野祐介さんをお招きし、講演会が開催されました。「浜松から地方創生 これからの浜松を担う皆さんへ!」と題された本講演は、市長自らの歩みや浜松の無限の可能性、そして未来を担う生徒たちへの熱い期待が込められた、大変貴重な時間となりました。

浜松市(旧天竜市)出身の中野市長は、中央省庁や北海道副知事などを歴任された後、2023年に市長に就任されました。講演では、郷土への深い愛情が語られました。また、世界に誇る「ものづくりのまち」浜松の強みについて、分かりやすく解説してくださいました。

現在、浜松市では防災対策の強化や市街地の再開発、さらに映画・アニメのロケ地としての魅力発信など、市を挙げた様々な挑戦が続けられています。市長は、変化する街の姿を具体的に紹介し、生徒たちに浜松市が持つ魅力を伝えてくださいました。

講演の締めくくりに、市長は「浜松の将来を担うのは、他ならぬ皆さんです」と力強いエールを送ってくださいました。今回の講演は、自分たちが住む街の魅力を再発見するとともに、将来の担い手としての自覚を新たにする、貴重な機会となりました。



【生徒感想】

今回、浜松についてお話をお聞きして、浜松市をより良くするために現在行っている活動や、私達学生のために行っている取り組みなど、初めて知ることがたくさんありました。警戒されている南海トラフ地震の被害を軽減するための対策が行われていたり、交通整備をしたり、私達がこれからも暮らしやすい市になるような活動が多く行われていることがわかりました。気になったことを実際に質問してみると、浜松にもっと興味を示すことが大切だと強くおっしゃっていました。私は、浜松について知らないことがまだまだたくさんあると思うので、もっと浜松の魅力に気づきたいと思いました。将来市外の大学へ進学しても、また浜松に戻ってきたいと感じました。

中野市長の話聞いて、自分が知らなかった浜松をたくさん知ることができ、浜松の魅力や安心感を持つことができました。金管楽器では、音楽の町とされている浜松の楽器製造を初めて見て、再生させる凄さと楽器を通じて魅力を伝えていくというのはとても考え深いものだと思います。他にも浜松の災害についての対策の話では、南海トラフの影響が大きいとされている浜松は安心して住むことができるのかという点で少し不安に感じていました。しかし、災害対策で何を行っているのかなどについての話を聞いて知らなかったことばかりだったので、安心することができました。今回の講演会を通して、将来の自分がどのような姿になっているのかとても楽しみになりました。

中野市長の講演を聞き、改めて自分が生まれ育った浜松市の様々な魅力と、これからの浜松市の未来について深く知ることができました。特に「音楽によるまちづくり」というお話は、中学の時に吹奏楽部だった私にとって身近に感じました。講演では、プロムナードコンサートやハママツ・ジャズ・ウィークなど、市民が日常的に音楽に触れることのできる機会が充実していることを紹介していただきました。音楽のイベントを通して、たくさんの人が音楽に触れ、地域の活力につながっていることを知りました。また、浜松市がヤマハやカワイといった世界的な楽器メーカーなどの「ものづくりの街」であることも改めて実感できました。これからの浜松市はわたしたちが作っていくので、今回の講演を通して学んだことを活かし、将来、浜松市の発展に貢献できるようになりたいです。

★終業式の日程

3月19日(木)

8:30~ SHR

8:45~ 9:30 終業式・離任式

9:45~10:30 大掃除

10:45~ HR

△大掃除に伴い、体操服を持参してください。

★春休みの諸注意

長期休暇中も、高校生としての自覚を持ち、安全な生活を心がけましょう。

1. 法令遵守

- 飲酒・喫煙・薬物乱用は厳禁です。これらは健康を損なうだけでなく、法律で固く禁じられています。

2. 外出・交通ルール

- 夜9時までには必ず帰宅してください。
- 外泊（知人・友人宅）は一切禁止です。
- 知人・友人（身内以外）の車への同乗は、トラブルや事故防止のため禁止します。

3. アルバイトについて

- アルバイトを検討している場合は、事前に必ず学校へ許可申請を行ってください。無断でのアルバイトは指導の対象となります。

4. 節度ある生活

- SNS等の使い方に注意し、トラブルに巻き込まれないよう慎重に行動してください。

3月の行事予定



1	日	第3回英検2次	13	金	テスト返却
2	月	卒業式	16	月	テスト返却、学年集会 特進・理数：合格体験談
4	水	45分授業《職員会議》	17	火	家庭学習日
5	木	[7限]	18	水	家庭学習日
6	金	[情Ⅱ7・8限]	19	木	終業式
9	月	期末試験	20	金	【(祝)春分の日】
10	火	期末試験	23	月	成績不良者追試
11	水	期末試験	24	火	成績不良者追試
12	木	期末試験、合格体験談、身体測定			

公式Youtube



公式Instagram



←随時更新しております。ぜひご覧ください！

※今号が今年度最後の発行となります。1年間、生徒たちの成長を共に見守ってくださり、ありがとうございました。